

2022年3月期 決算説明資料

株式会社トマト銀行

目次

2022年3月期 決算概要

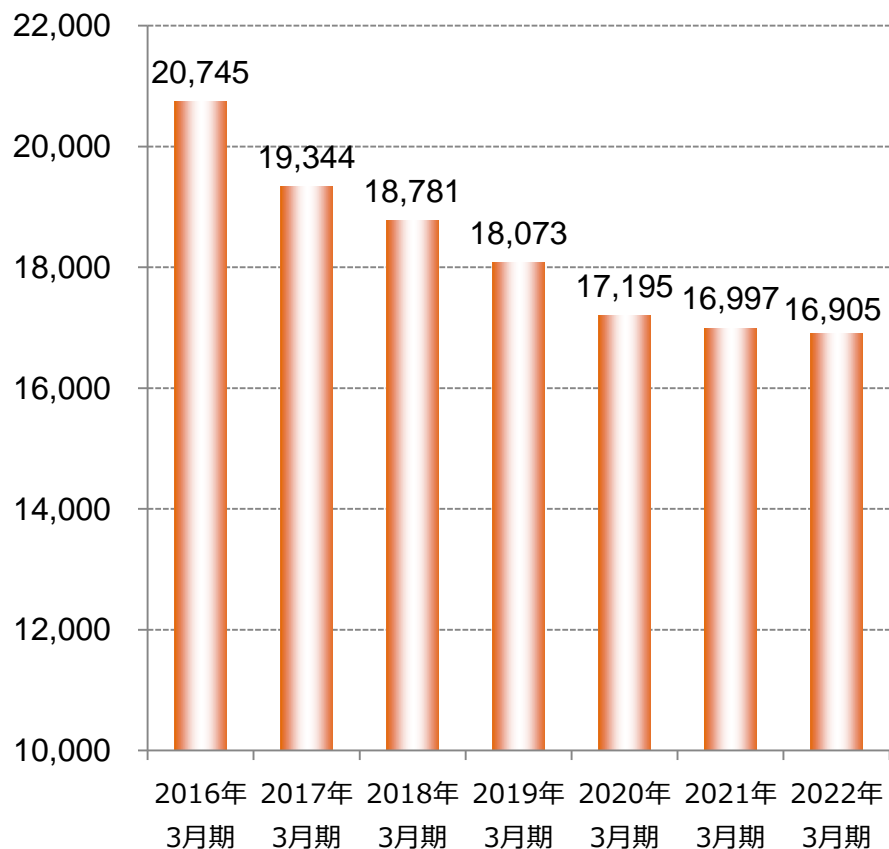
損益の推移（単体）	2
決算概要	3
預金・預り資産	4
貸出金	5
中小企業向け貸出・新型コロナ対応貸出	6
岡山県内向け貸出	7
事業者貸出先数・事業者メイン先数	8
総資金利鞘（国内業務部門）	9
有価証券	10
自己資本比率	11
経費・コア業務粗利益 O H R・ROE	12
不良債権比率、保全・引当状況	13
2023年3月期 業績予想	14
トマト銀行のプロフィール	15
本資料に関する照会先	16

損益の推移(単体)

- 貸出金利息及び有価証券利息が減少したことを主因に資金運用収益が減少し、経常収益は減収
- 役務取引等利益が増加、経費が減少したこと等により、経常利益、当期純利益ともに増益
- 経常利益は業績予想比+229百万円、当期純利益は同+226百万円となり、ともに業績予想を大きく上回った。

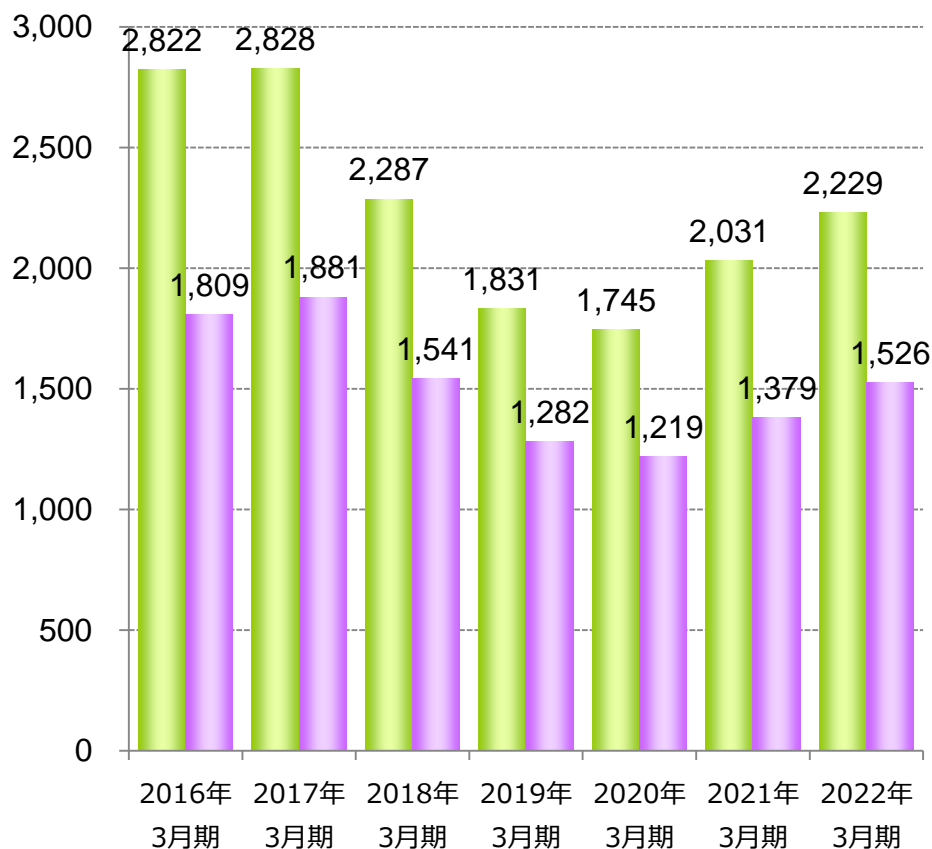
経常収益の推移

(単位：百万円)



経常利益・当期純利益の推移

(単位：百万円) ■ 経常利益 ■ 当期純利益



決算概要

- 業務粗利益は、役務取引等利益の増加等から前期比 427百万円増加(+3.2%)の 13,756百万円
- 経常利益は、株式等関係損益が減少したものの、業務粗利益が増加、経費が減少したこと等から前期比 197百万円増加(+9.7%)の 2,229百万円

損益状況

【単体】

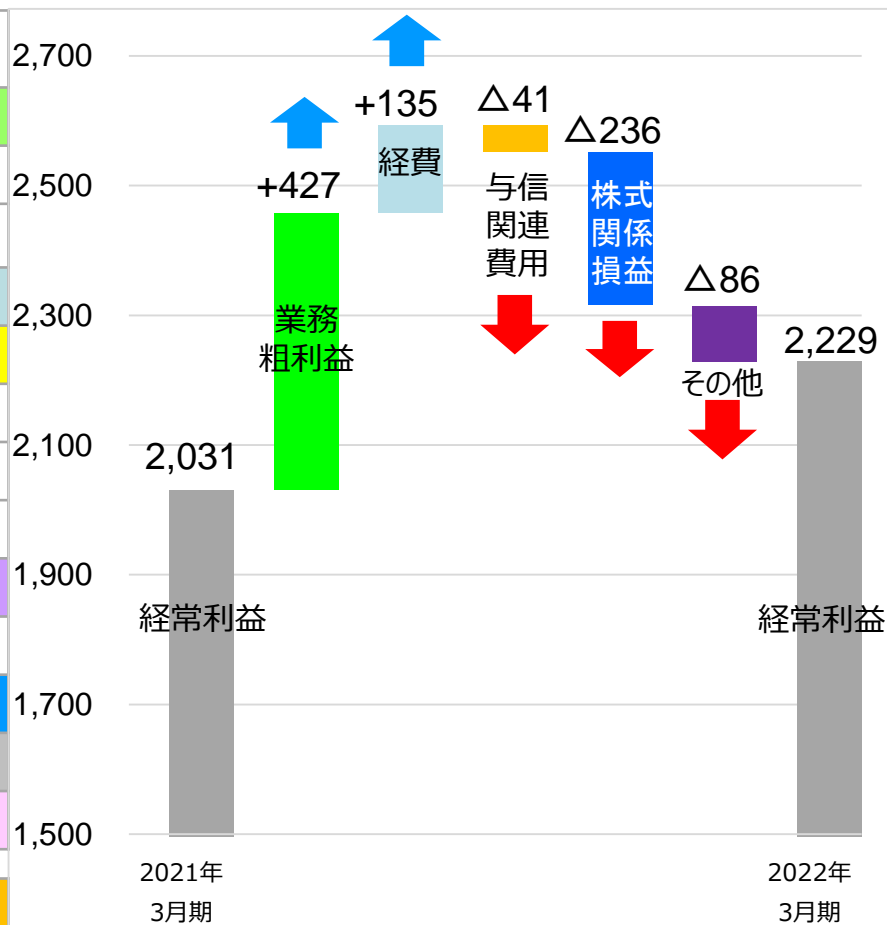
(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	前期比
業務粗利益	13,329	13,756	+427
うち資金利益	12,722	12,684	△37
うち役務取引等利益	566	970	+404
経費	11,189	11,054	△135
コア業務純益	2,101	2,615	+514
除く投信解約損益	2,073	2,625	+552
一般貸倒引当金繰入額①	△270	△313	△43
業務純益	2,409	3,015	+606
臨時損益	△378	△786	△408
うち不良債権処理額②	592	678	+85
うち株式等関係損益	174	△61	△236
経常利益	2,031	2,229	+197
当期純利益	1,379	1,526	+146
与信関連費用 (①+②)	322	364	+41

経常利益の増減要因

【単体】

(単位：百万円)

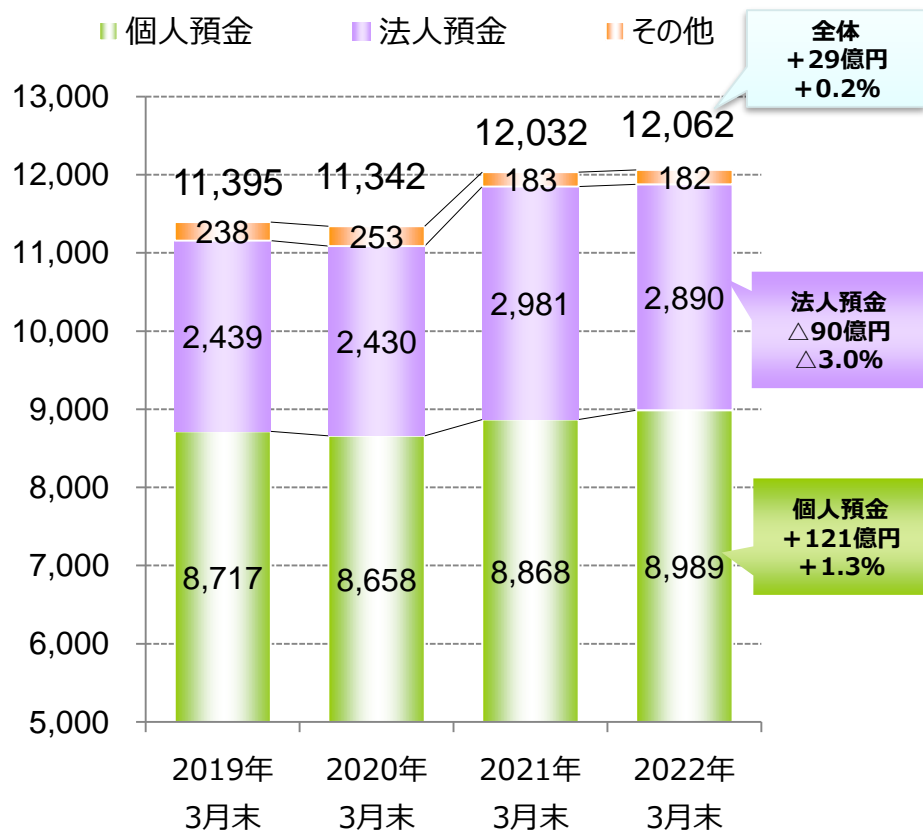


預金・預り資産

- ・ 預金は、個人預金の増加等により2021年3月末比29億円増加（+0.2%）の1兆2,062億円
- ・ 預り資産残高（預金含む）は、投資信託の残高増加等により2021年3月末比196億円増加（+1.4%）の1兆3,640億円

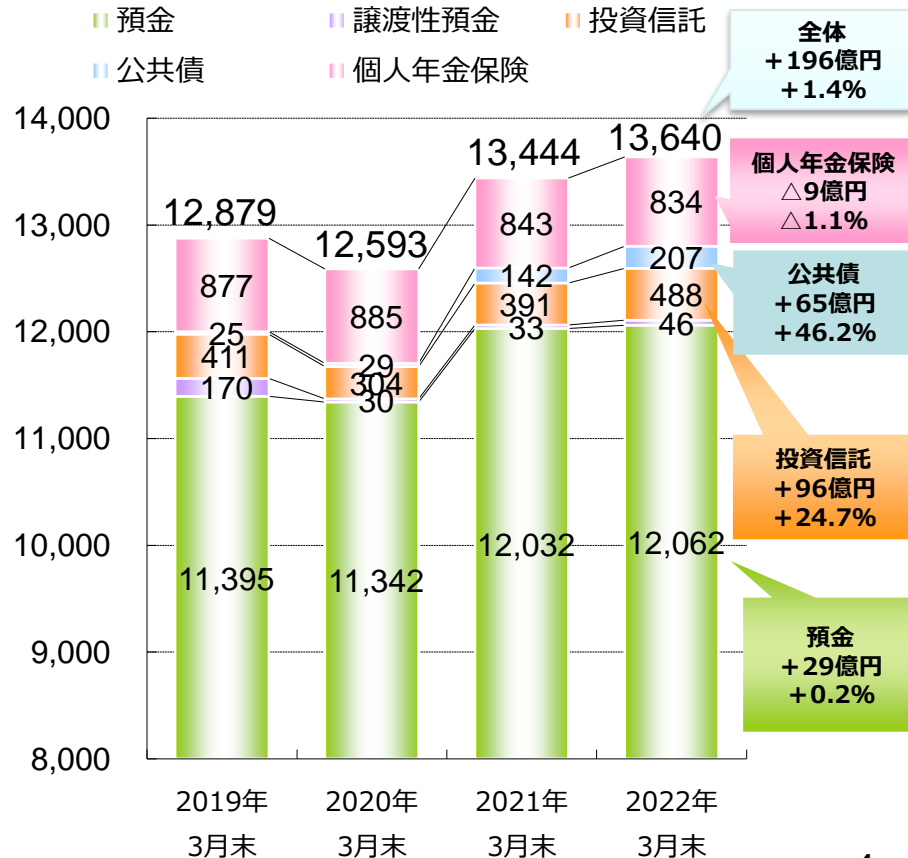
預金残高の推移(単体)

(単位：億円)



預り資産残高の推移(単体)

(単位：億円)



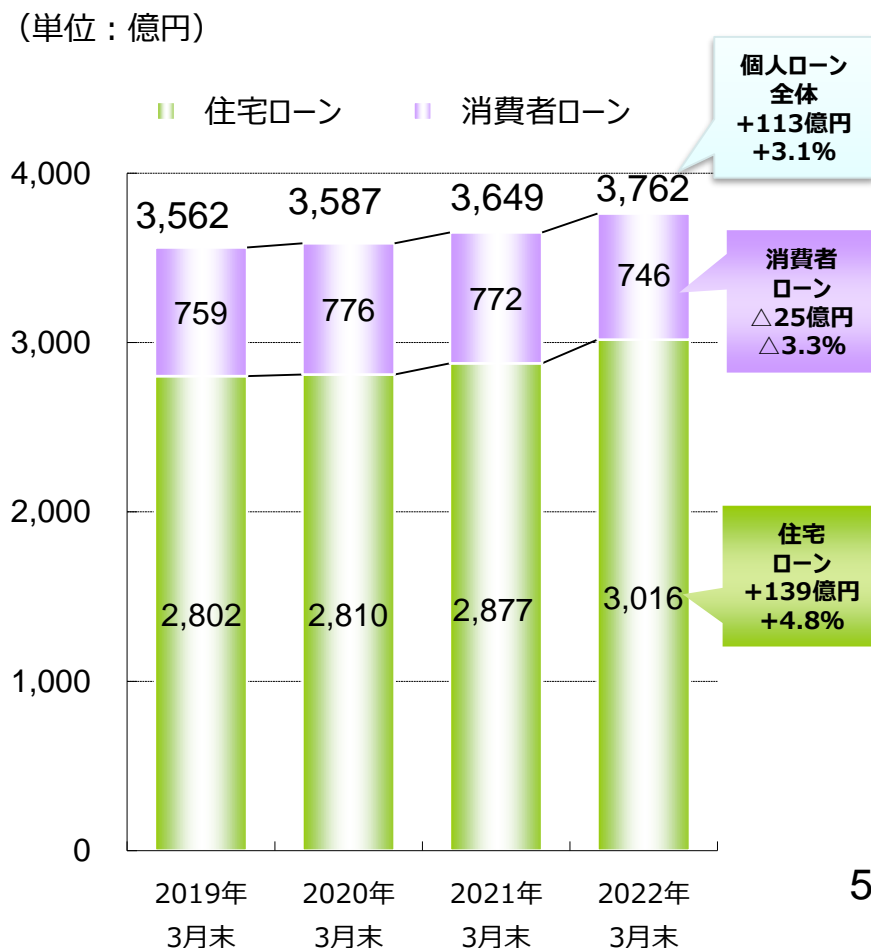
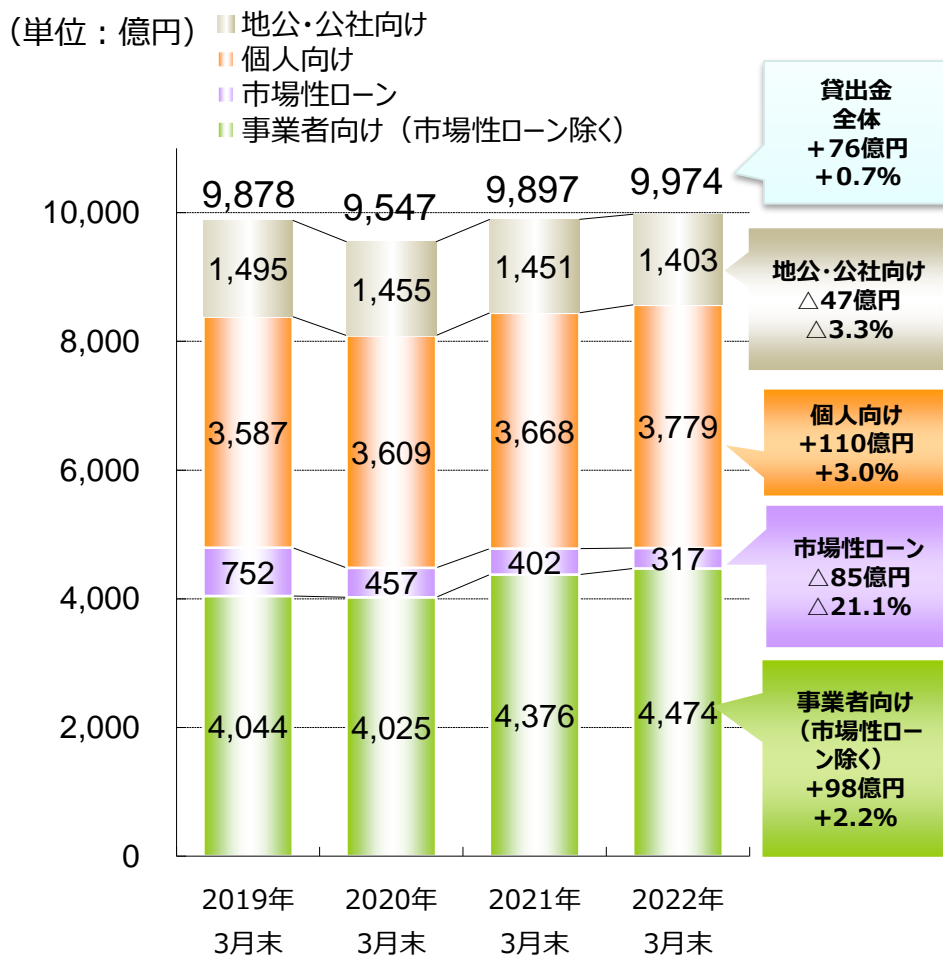
※ 預り資産とは、預金、譲渡性預金、投資信託、公共債、個人年金保険をいいます。

貸出金

- 全体の貸出金残高は、事業者向け、個人向けともに増加し、2021年3月末比 76億円増加（+0.7%）の9,974億円
- 個人ローン残高は、住宅ローンが増加し、2021年3月末比 113億円増加（+3.1%）の3,762億円

貸出金残高の推移(単体)

個人ローン残高の推移(単体)

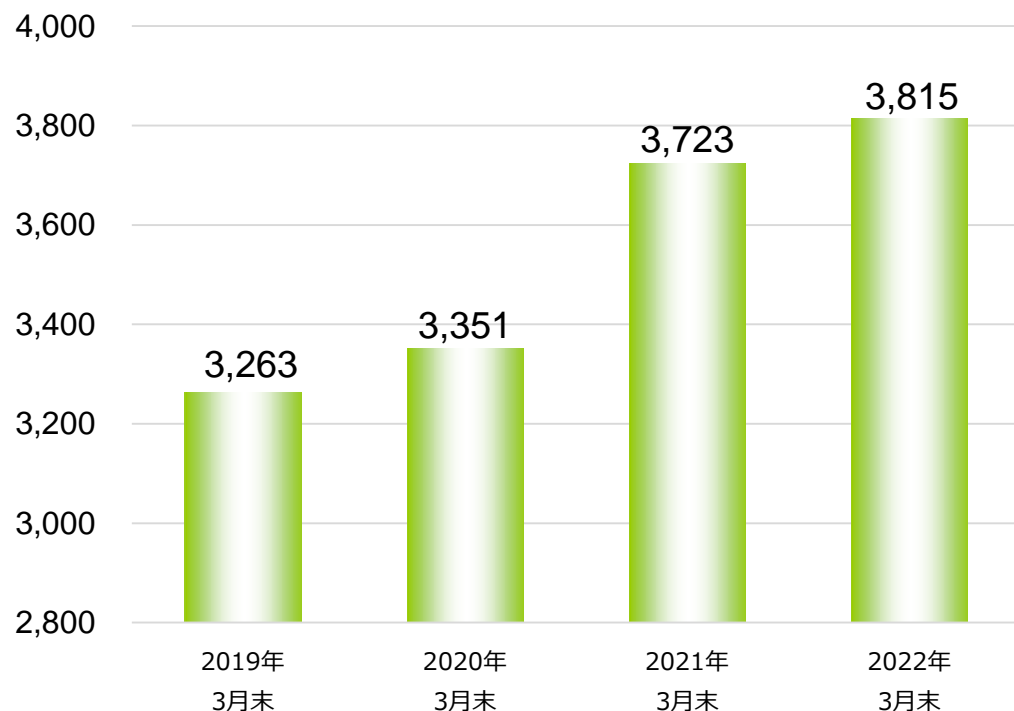


中小企業向け貸出・新型コロナ対応貸出

- 中小企業向け貸出（市場性ローン・預担除く）残高は、新型コロナに対応した資金繰り支援を積極的に行ったことから、2021年3月末比92億円増加（+2.4%）の3,815億円
- 新型コロナ対応貸出残高は、2021年3月末比14億円増加（+2.1%）

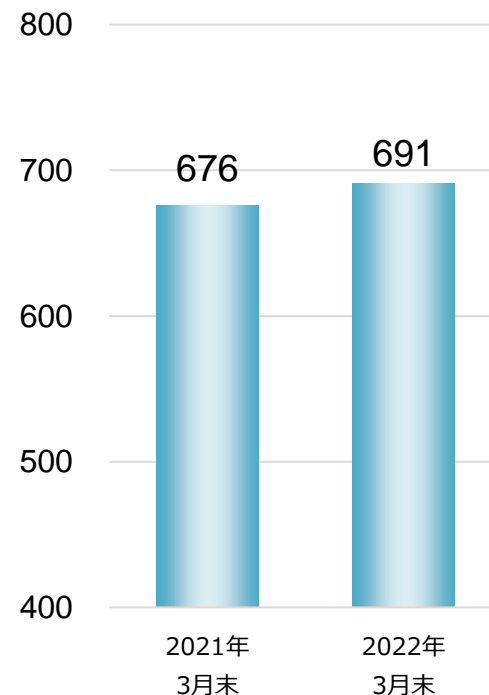
中小企業向け（※）貸出（市場性ローン・預担除く）残高

（単位：億円）



新型コロナ対応貸出残高

（単位：億円）



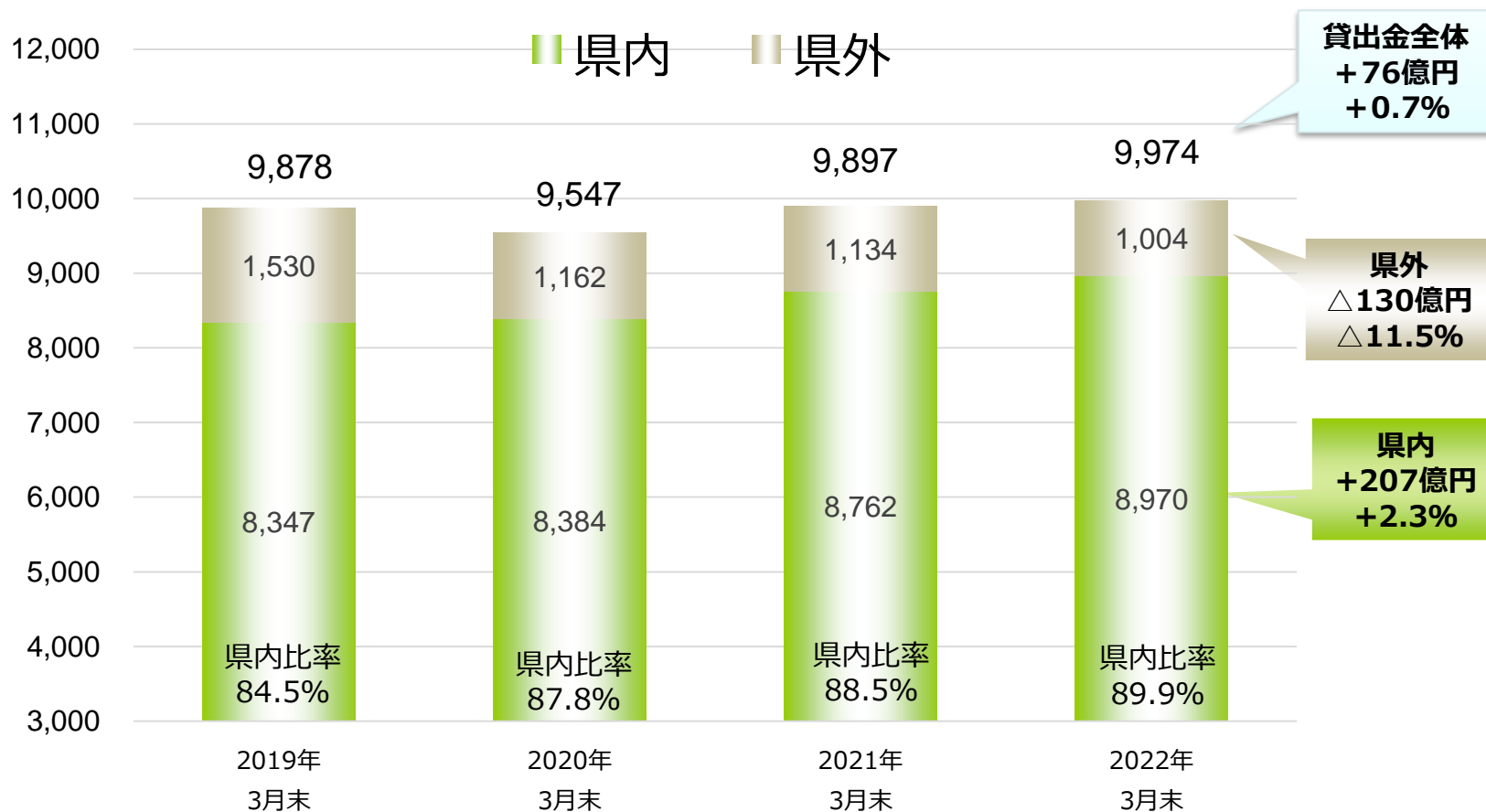
※ 中小企業向けとは資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社又は常用する従業員が300人（ただし卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業など

※ 新型コロナ対応貸出残高は、新型コロナウイルス感染症で影響を受けたお客さまへ行った特別融資の合計額

岡山県内向け貸出

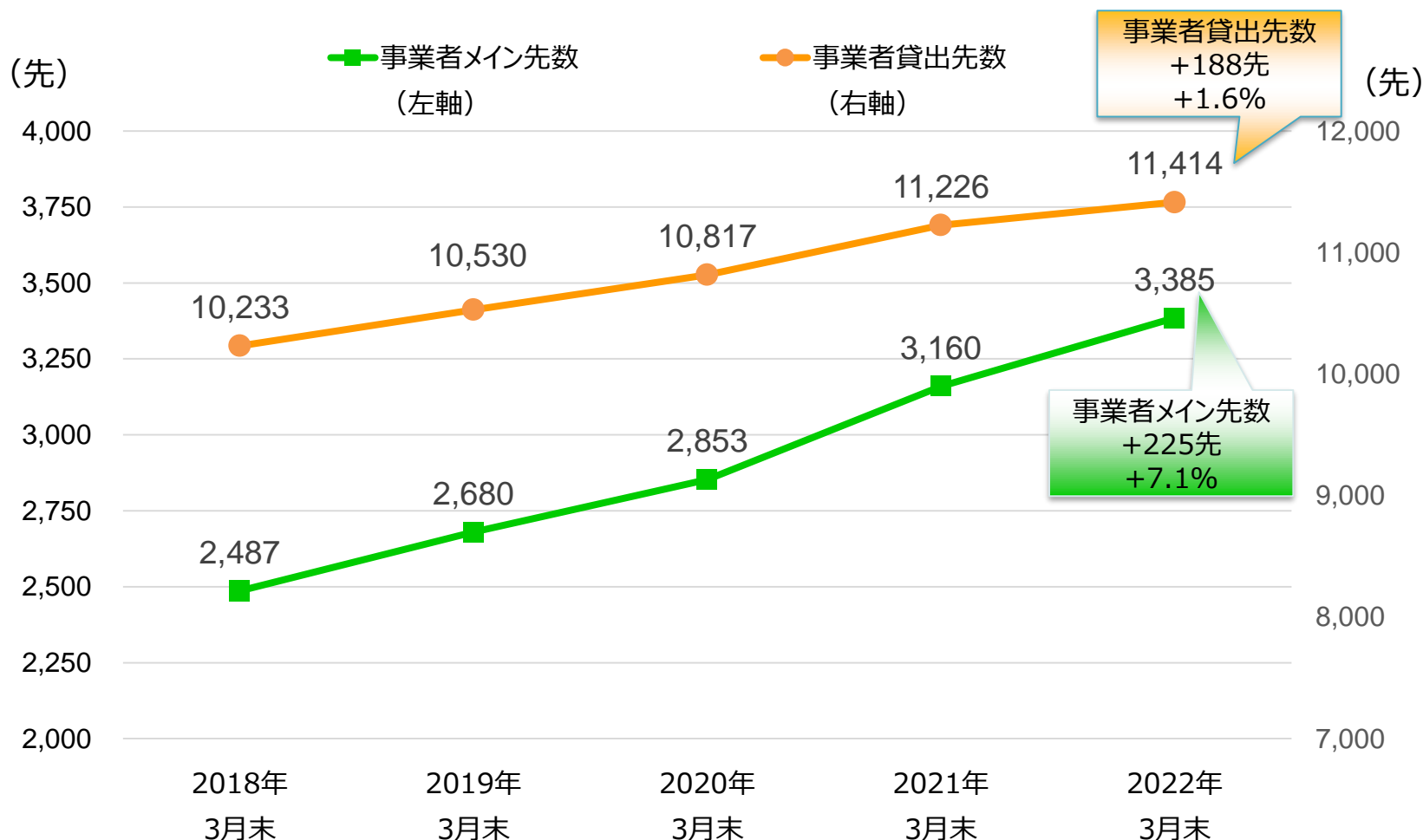
- 岡山県内向け貸出残高は、2021年3月末比 207億円増加 (+2.3%) の 8,970億円
- 岡山県内向け比率は、2021年3月末比 1.4%上昇の 89.9%
- 岡山県外向け貸出残高は、市場性ローンの減少に伴い 2021年3月末比 130億円減少 (Δ 11.5%)

(単位：億円)



事業者貸出先数・事業者メイン先数

- 事業者貸出先数は順調に増加し、2021年3月末比 188先増加（+1.6%）の11,414先
- 事業者メイン先数も順調に増加し、2021年3月末比 225先増加（+7.1%）の3,385先



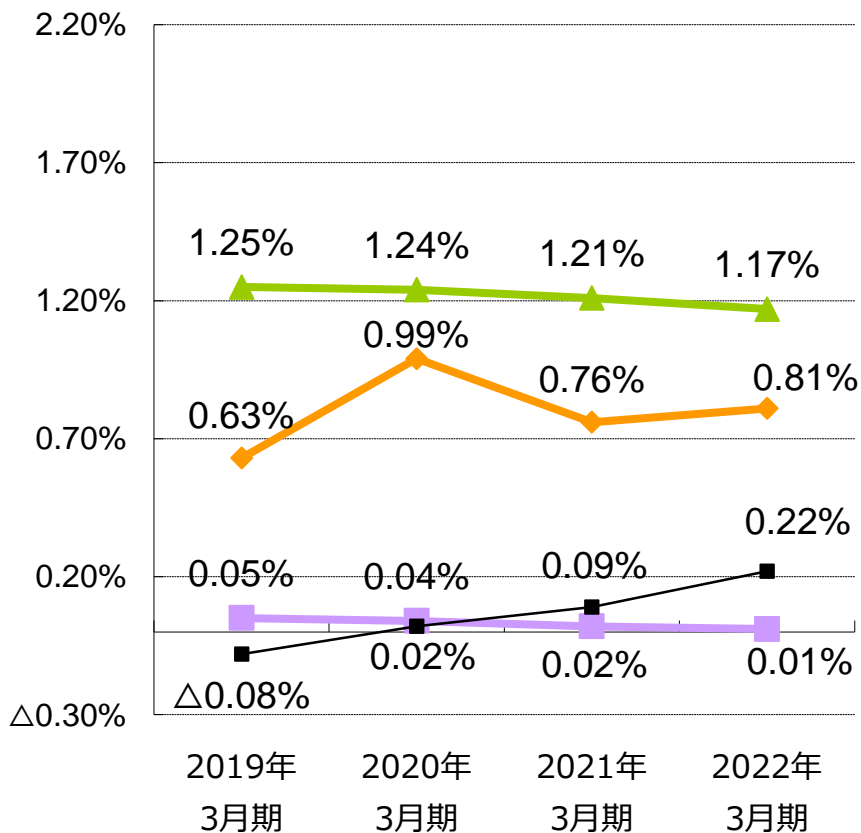
※ 事業者メイン先数とは役員借入を除く融資シェア第1位の事業者

総資金利鞘(国内業務部門)

- 貸出金利回は、低金利政策の長期化により2021年3月期比 0.04%低下の 1.17%
- 有価証券利回は、2021年3月期比 0.05%上昇の 0.81%
- 総資金利鞘は、資金調達原価の低下により2021年3月期比 0.04%上昇の 0.16%

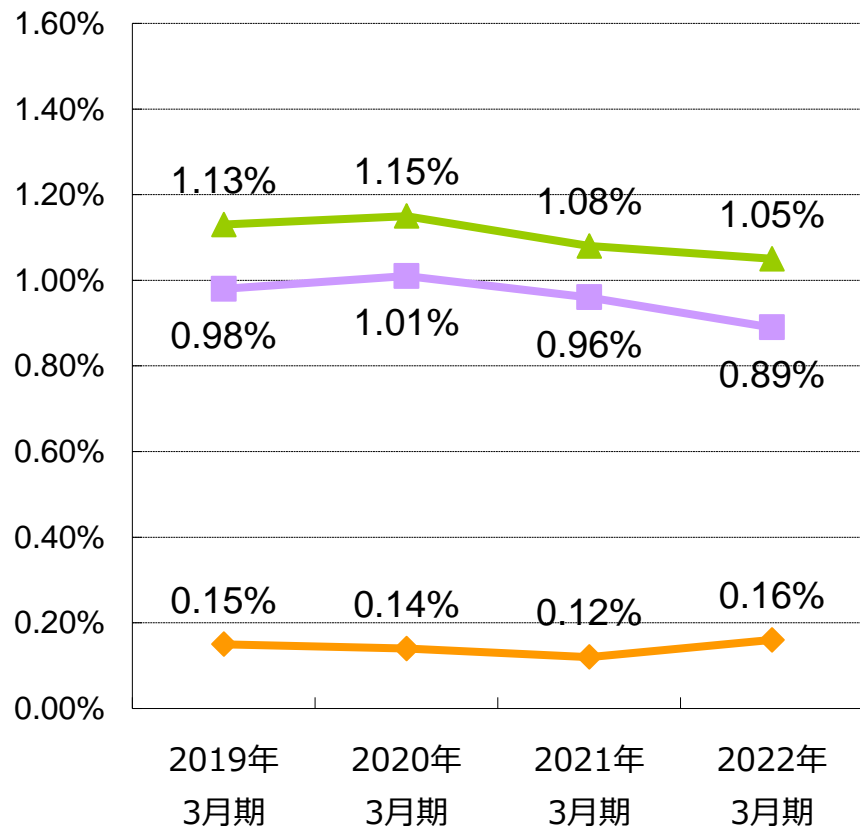
各種利回り等の推移(国内業務部門)

- ▲ 貸出金利回
- ◆ 有価証券利回
- 預金等利回
- 10年国債金利 (期末)



総資金利鞘等の推移(国内業務部門)

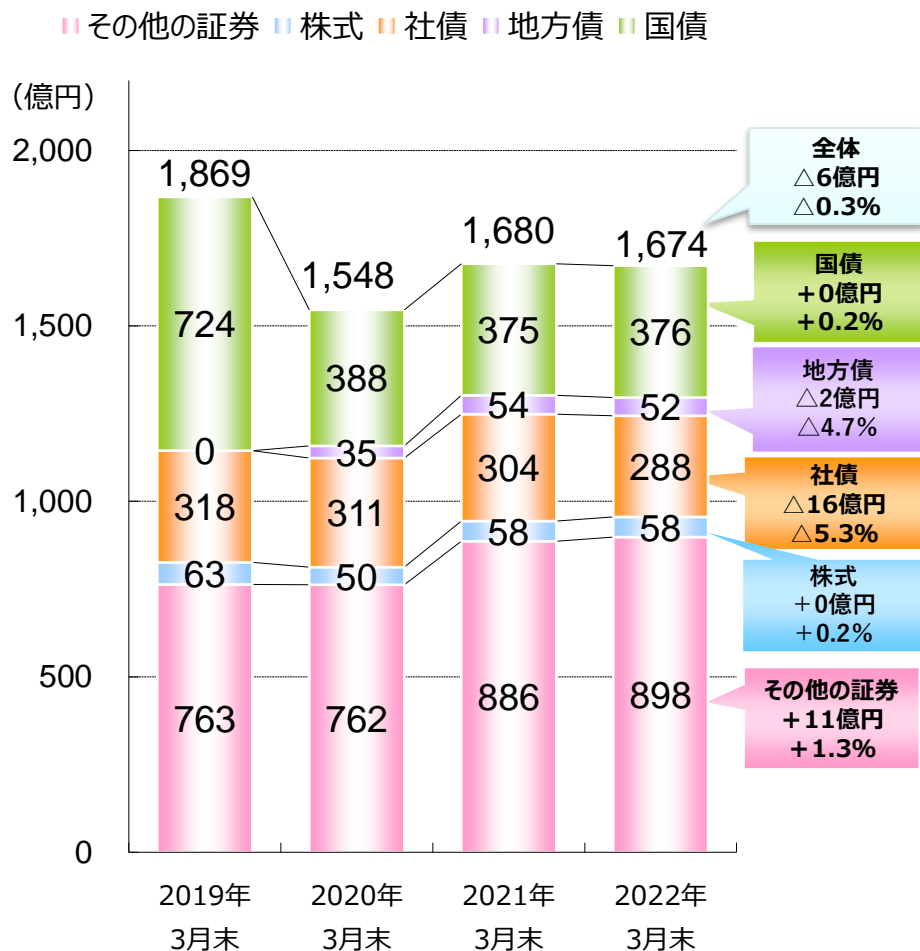
- ▲ 資金運用利回
- 資金調達原価
- ◆ 総資金利鞘



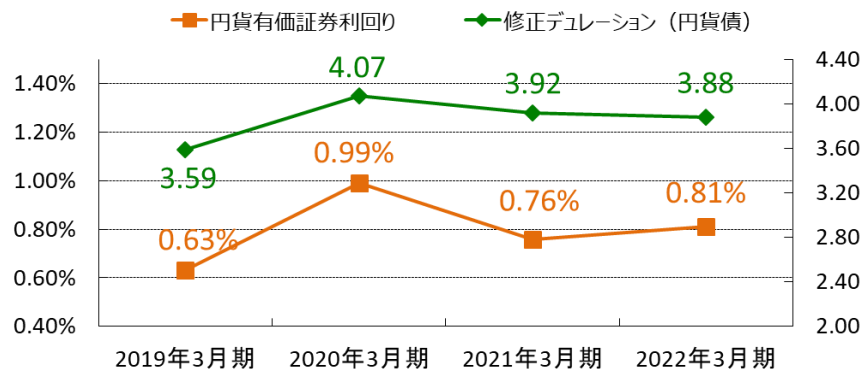
有価証券

- 有価証券残高は、ほぼ横ばいで推移し、ポートフォリオも大きく変わらず 1,674億円
- 有価証券評価損益は、その他の有価証券の評価損益の減少（債券及びその他）により2021年3月末比 1,426百万円減少の 2,227百万円
- 円貨有価証券利回りは、2021年3月期比0.05%上昇の0.81%、修正デュレーションは、2021年3月期比0.04低下の 3.88

有価証券残高の推移



利回り・修正デュレーションの推移



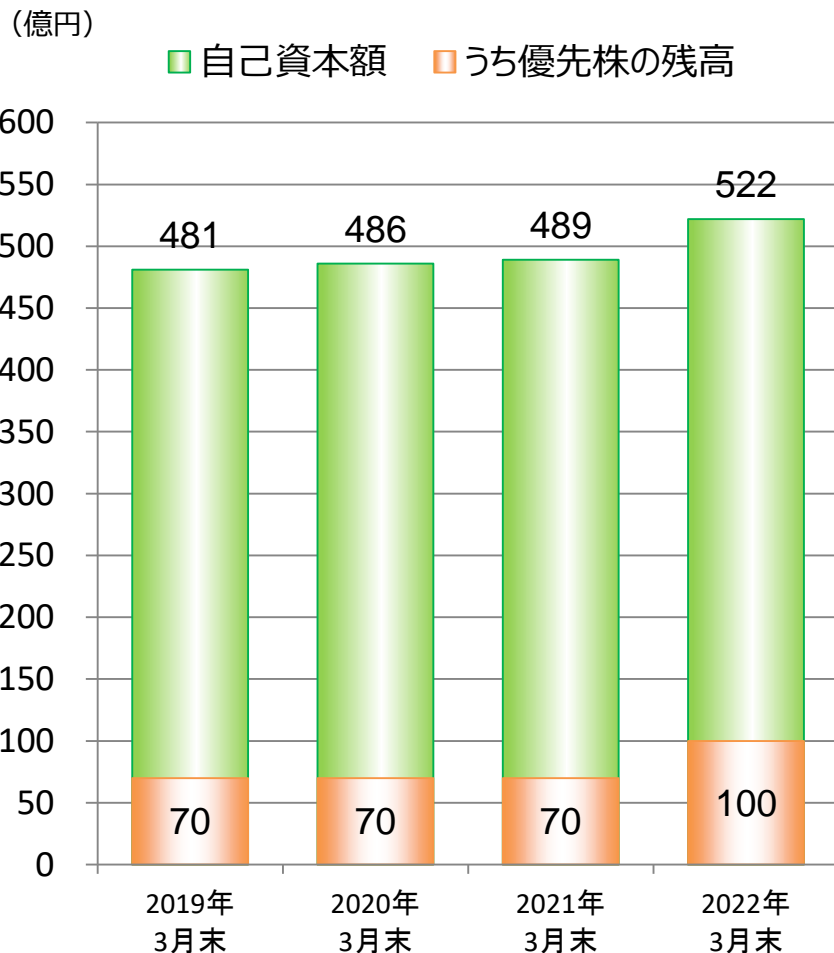
有価証券評価損益の状況

	(単位：百万円)	2022年3月		2021年3月
		末評価損益	前期末比	
満期保有目的		462	△ 261	724
その他の有価証券		1,764	△ 1,165	2,929
株式		2,317	+ 153	2,163
債券		△ 81	△ 470	388
その他		△ 470	△ 848	378
合計		2,227	△ 1,426	3,654

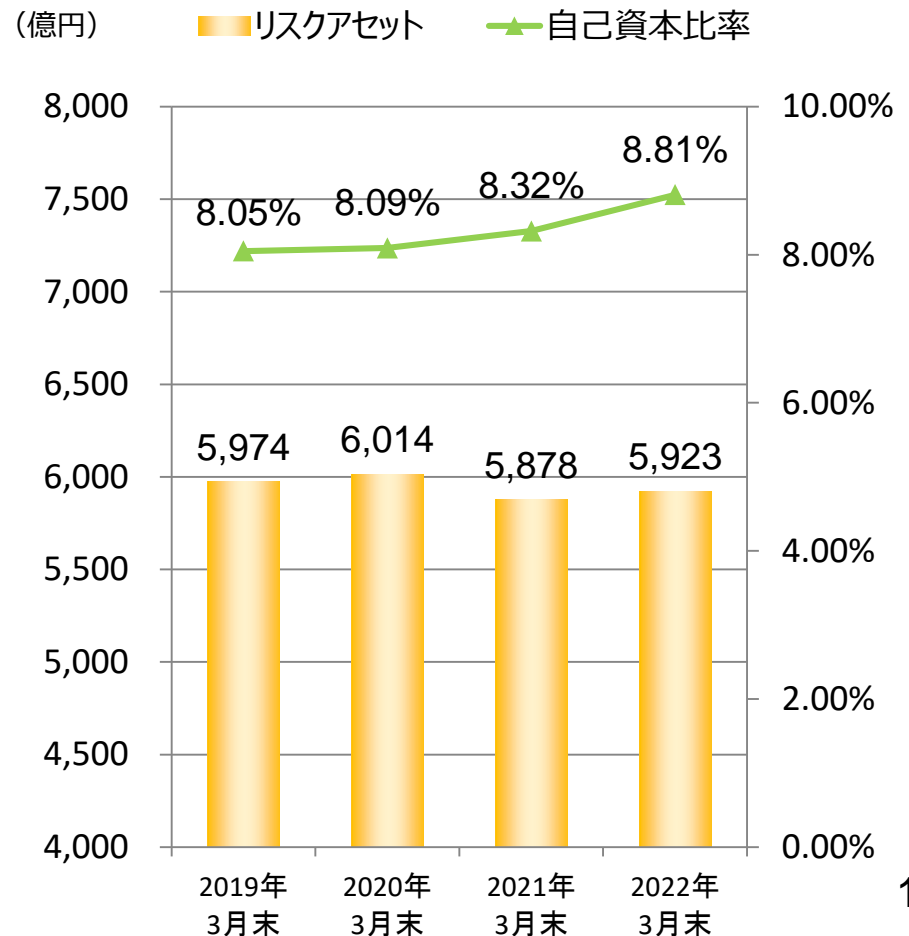
自己資本比率

- 自己資本比率（単体）は、利益確保と徹底したリスクアセットコントロール等に加え、第2回A種優先株式発行により、2021年3月末比 0.49%上昇の 8.81%
- 国内基準（4%以上）を大きく上回っており、健全性を確保

自己資本の推移【単体】



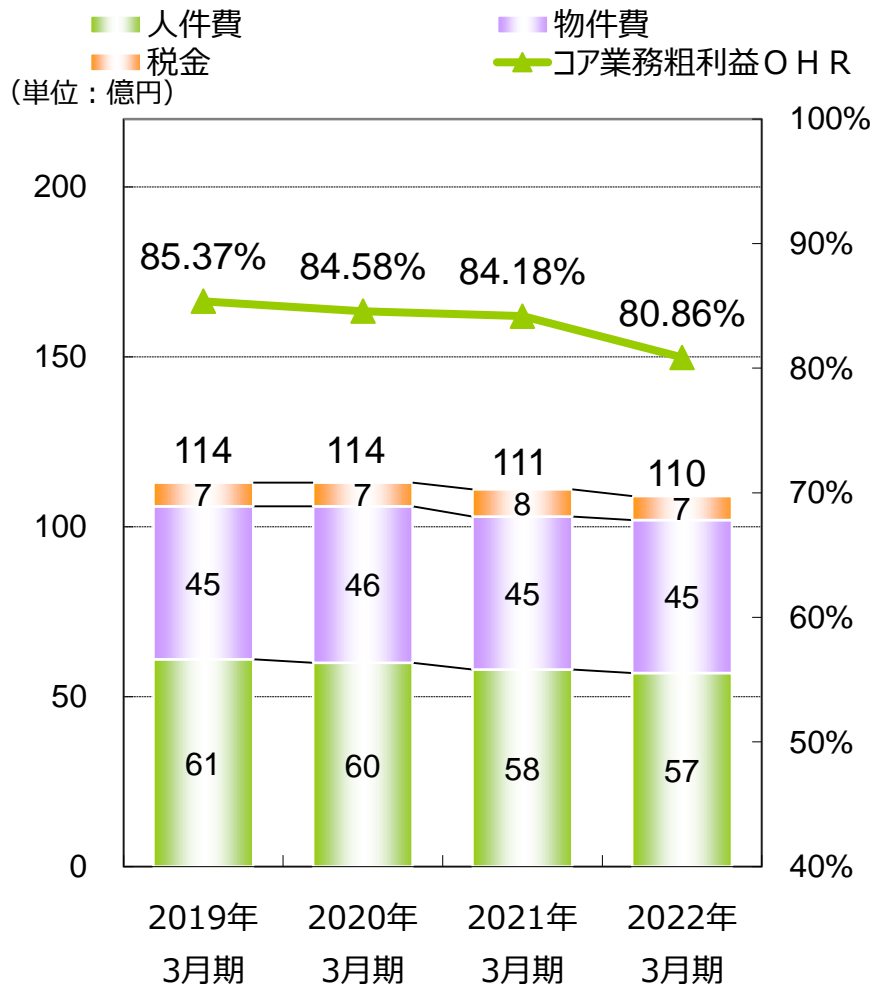
自己資本比率・リスクアセットの推移【単体】



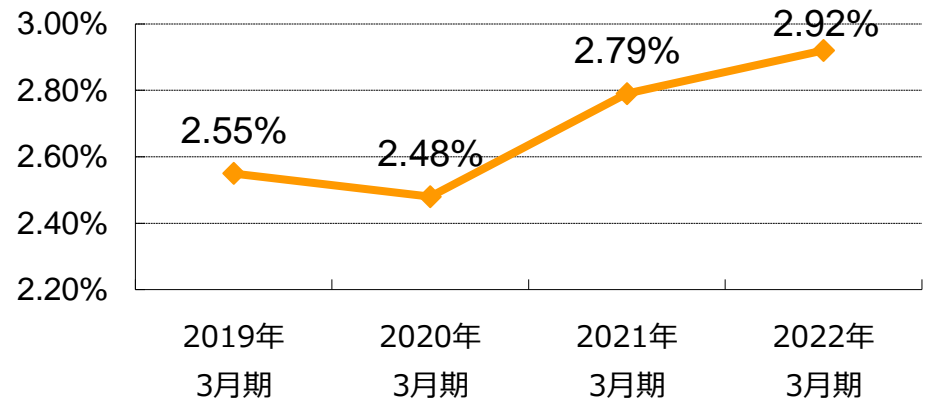
経費・コア業務粗利益OHR・ROE

- 人員の減少で人件費が減少したことで、経費は2021年3月期比 135百万円減少し 11,054百万円
- コア業務粗利益OHRは、経費の減少により2021年3月末比 3.32%低下の 80.86%
- ROEは、2021年3月期比 0.13%上昇の 2.92%

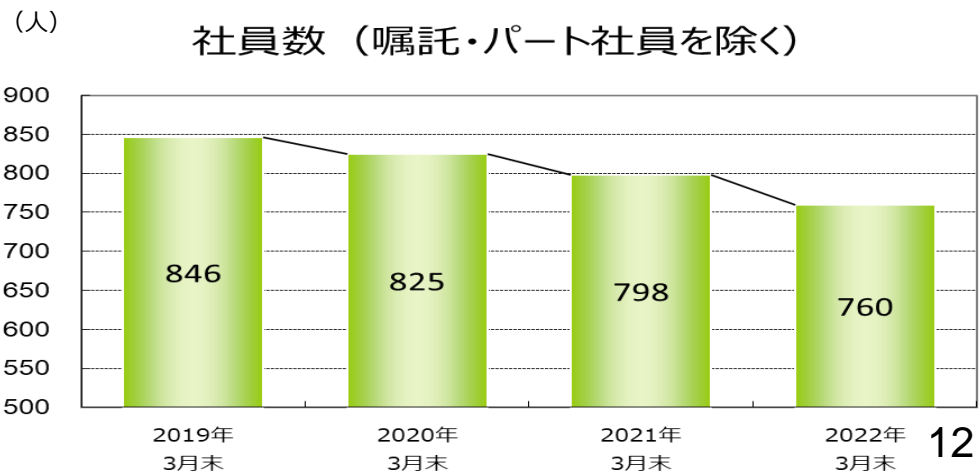
経費・コア業務粗利益OHRの推移



ROEの推移



人員の推移

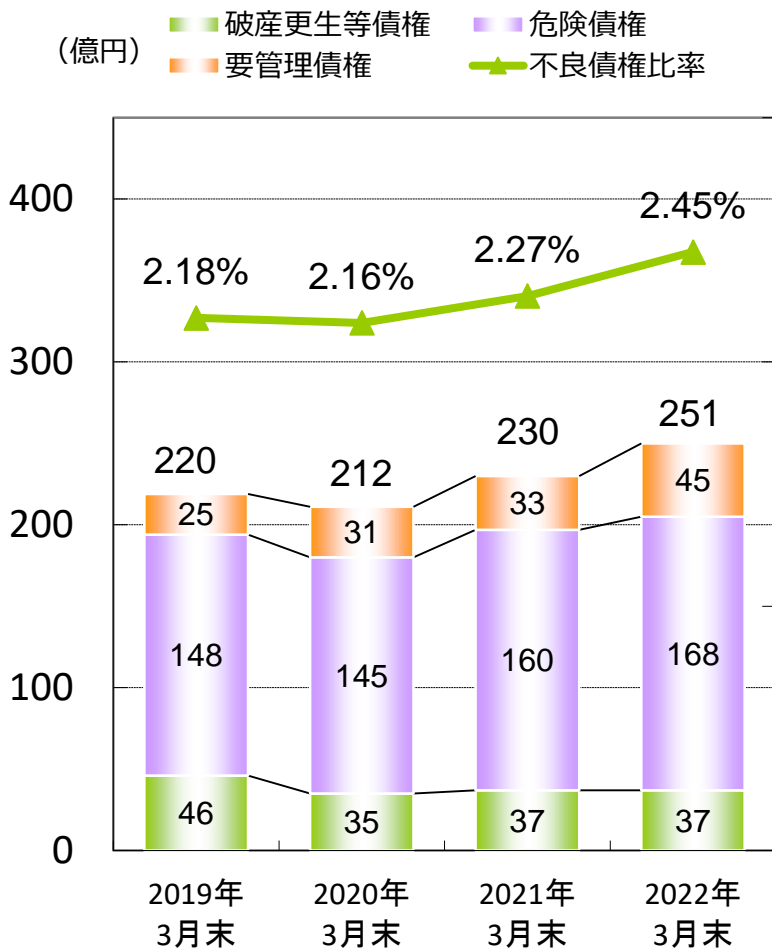


※ OHR = 営業経費 / コア業務粗利益

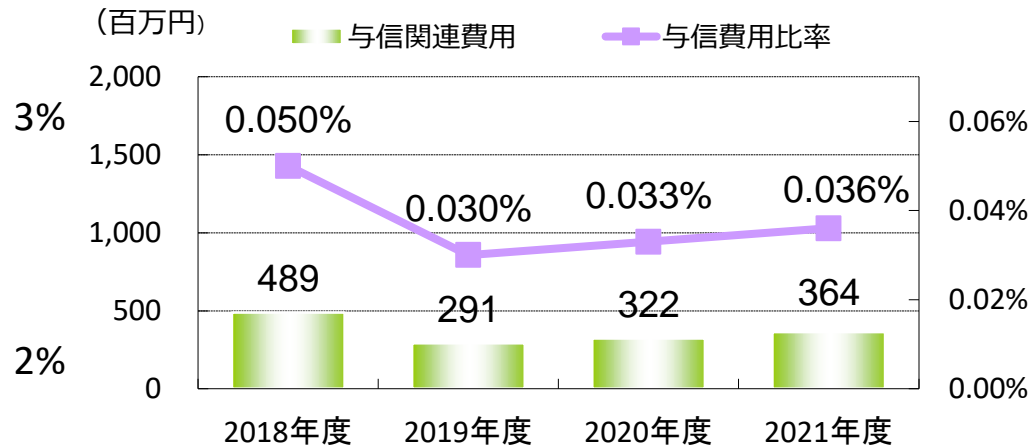
不良債権比率、保全・引当状況

- 不良債権比率（金融再生法開示債権比率）は、2021年3月末比 0.18%上昇の 2.45%
- 2021年度の与信関連費用は、2020年度比 41百万円増加の364百万円
- 保全率（担保・保証等、引当金）は、2021年3月末比0.68%上昇の78.42%

不良債権比率の推移



与信関連費用・与信費用比率の推移



※ 与信費用比率 = (一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額) ÷ 期中貸出金平均残高

保全・引当状況

(単位：%)

	2022年		2021年 3月末
	3月末	前期末比	
保全率	78.42	+ 0.68	77.74
引当率	39.10	△ 0.39	39.49

2023年3月期 業績予想

【単体】

(%表示は対前期増減率)

	経常収益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
2023年3月期 (予想)	百万円 16,900	百万円 2,000	百万円 1,400	円 銭 107 44
	% △0.0	% △10.2	% △8.2	

【連結】

	連結経常収益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	一株当たり 当期純利益
2023年3月期 (予想)	百万円 22,100	百万円 2,200	百万円 1,500	円 銭 116 14
	% △3.1	% △10.2	% △9.5	

トマト銀行のプロフィール

本社所在地	岡山県岡山市北区番町2丁目3番4号
設立年月日	1931年（昭和6年）11月9日
資本金	178億1千万円
総資産	1兆3,918億円
預り資産残高	1兆3,640億円（うち預金残高 1兆2,062億円）
貸出金残高	9,974億円
社員数	760名（嘱託・パート社員を除く）
店舗数	61カ店、住宅ローンセンター2カ所、ビジネスサポートプラザ1カ所
上場取引所	東証スタンダード（証券コード 8542）

※ 計数は単体、2022年3月末時点

本資料に関する照会先



株式会社トマト銀行 経営企画部

Tel : 086-800-1830

Fax : 086-224-0207

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比等異なる可能性があることにご注意ください。